

Type I / Type II / SKグラウトプラグ® A工法 シーカRCプロテクト工法™

鉄筋腐食抑制 & はく落防止 & ひび割れ補修を実現したハイブリッド工法

塩害や中性化による損傷を受けたコンクリート構造物において、第三者被害を防止する目的で剥落防止工が適用されるものの、潜在的な腐食要因によりコンクリート内部で劣化が進展し、膨れや剥がれ等の損傷事例が報告されています。

「シーカRCプロテクト工法™」はコンクリート中の鉄筋腐食を抑制するとともにコンクリート片の剥落防止を実現した、これまでに無いハイブリッドな工法として開発されました。本工法は建築構造物ならびに土木構造物のどちらにも適用することができます。

- ▶ 内部の劣化要因と表面のひび割れに対応した、新しいはく落防止の実現
- ▶ 理想的なはく落防止対策工法
- ▶ 実績豊富で確かな製品技術



[工法ディテール]

シーカRCプロテクト工法™ 施工フロー



特徴

- ・鉄筋腐食抑制とはく落防止を同時に実現します。
- ・システム工法であり、製品相性に優れます。
- ・適用条件に合わせた2つの工法を選択できます。
- ・施工性に優れます。
- ・無色透明な製品組合わせにより適用後の視認性を確保できます (Type I)。
- ・過去にプロテクトシル® CIT を塗布したコンクリート面にもシーカガード® ワンガードを塗布することが可能です。

構成製品:

鉄筋腐食抑制材「プロテクトシル® CIT」

国土交通省「NETIS」No. HR-060004-VE
設計比較・活用促進技術(掲載期間終了技術)

Type1「シーカガード® ワンガードクリア工法」

国土交通省「NETIS」No. CG-190009-VE

Type2「シーカガード® ワンガード工法」

NEXCO「構造物施工管理要領コンクリート 表面被覆、はく落防止の性能照査」に適合

ひび割れ補修工法

NEXCO「構造物施工管理要領」注入材(1種、2種、3種)
建設省総合技術開発プロジェクト(1種、2種、3種)